



マツダ病院からの報告

2022/7/14 第28回薬薬連携研修会

本日の内容

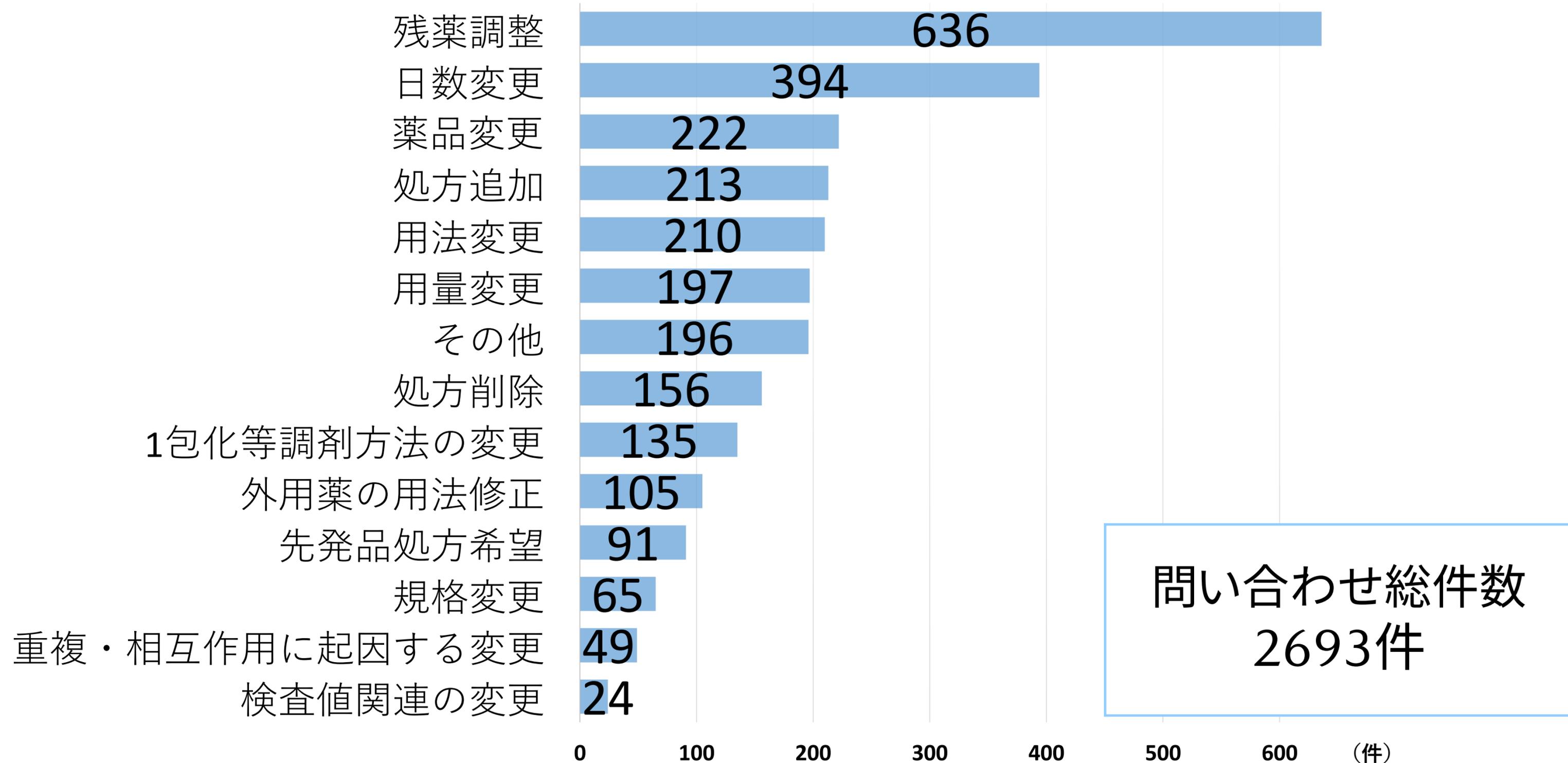
1. 保険薬局からの疑義照会内容
2. 当院へのトレーシングレポートの内容報告
3. 検査値へのMg値, Ca値追加表示について

1. 保険薬局からの疑義照会内容

2021年1月～12月分

疑義照会状況

集計期間2021年1月～12月



①残薬調整ではなかった事例

当院通院中の患者（次回受診日は33日後）

処方せん内容 A錠、B錠： 14日分
C錠： 33日分

保険薬局で、患者の残薬を確認した。

A錠は次回受診まで足りず、B錠は『残薬』と『処方された日数分』で、次回受診まで処方あり。

C錠は残薬があり、次回受診まで処方あり。

保険薬局側は、A錠、B錠については医師が残薬調整し、14日分で処方したと判断した。

A錠は次回受診まで足りないため、保険薬局は当院へ疑義照会を行った。

当院薬剤師もA錠を次回受診まで足りるように、14日分→33日分へ処方修正した。

しかし...実は、A錠、B錠は14日で飲み切り終了予定だった

①残薬調整ではなかった事例

当院通院中の患者（次回受診日は33日後）

処方せん内容 A錠、B錠： 14日分
C錠： 33日分

患者はなんと言っていたのか？

残薬調整という思い込み・先入観

保険薬局薬剤師→患者からの話をよく聞く

病院薬剤師→不明な場合は医師への確認を徹底する

②緑内障関連の事例

当院皮膚科より止汗剤(エクロック®ジェル)処方

エクロック®ジェル:閉塞隅角緑内障患者に禁忌
(抗コリン作用により眼圧上昇し症状を悪化させることがある)

該当患者は開放隅角緑内障であることを確認



眼科医

お薬手帳より緑内障だと思われるが、プレドニン®の服用OK?

緑内障患者にプレドニン®服用が禁忌というわけではなく、ステロイドを長期使用すると眼圧があがる方もいるため、**眼圧チェックが大切**とのこと。患者にかかりつけの眼科でプレドニン®服用の旨を伝えた上で、眼圧をチェックしてもらうよう指示あり。

プレドニン®添付文書:

連用により眼圧上昇をすることがあるので眼科で定期的に検査をすることが望ましい

③患者の症状を医師に報告できた事例



イクセロン®パッチにて食欲不振、ふらつきの副作用あり、対応について



消化器症状の副作用が強ければ、中止可と指示あり



メトグルコ®開始にて消化器症状の発現あり、対応について



慣れてくると思うので1週間は続けてもらいたい。それでも続くようなら追加分のメトグルコ®はやめてもいいと指示あり。



アムロジピン処方開始より、むかつきなど調子が悪く自己中断中、今後の対応について



中止のままで対応し、血圧上昇する場合は服薬を開始するか、受診するよう指示あり

④重複投与・相互作用の事例

マツダ病院の処方中での重複 22件

マツダ病院処方と他院処方との重複 27件

同一薬効の重複

消化性潰瘍治療薬 (PPIとH2ブロッカー、PPIとPCABなど)

経口血糖降下薬

抗血小板薬

抗アレルギー薬、ビタミン剤、去痰剤、睡眠導入剤

ハイリスク薬同士の重複あり!!!

禁忌薬

パーキンソン病治療薬と過活動膀胱治療剤

⑤検査値関連の変更事例 24件

ミロガバリン 6件

レボフロキサシン 5件

ファモチジン 3件

など

※すべて腎機能に応じた処方変更

2. 当院へのトレーシングレポートの内容報告

2021年4月～2022年3月分

トレーシングレポートの内容

2021年4月～2022年3月分

報告内容の
チェックボックスから集計

総件数 107件

手技:吸入

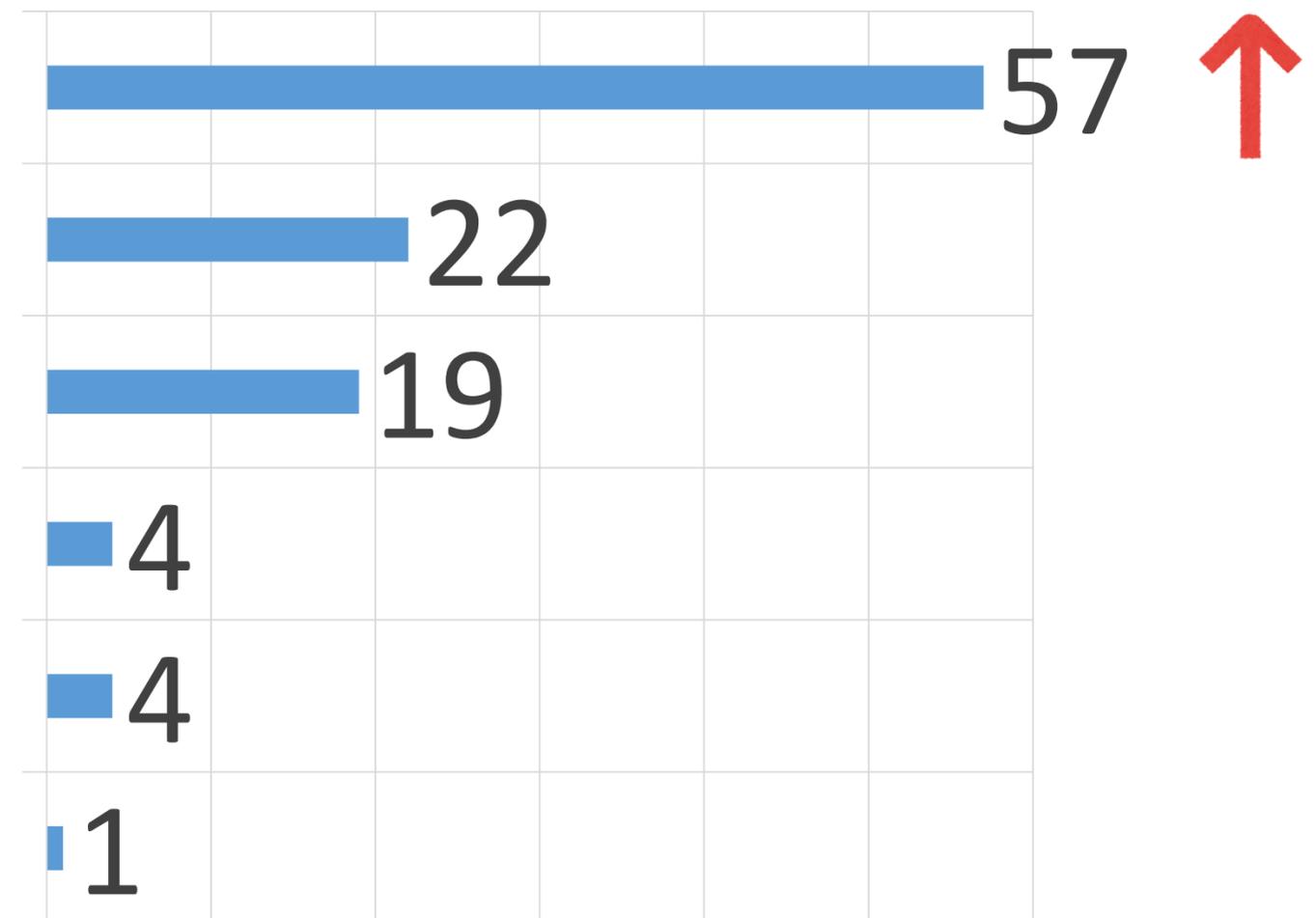
服薬状況

その他

副作用(重篤でないもの)

ポリファーマシー等

他院処方(重複、相互作用)



トレーシングレポートによる提案内容の紹介



排尿障害治療薬の重複。他院より、当院処方薬の中止指示あり、
今後当院での処方^{は不要の連絡。}

循環器内科の患者。喘息治療薬継続していたが、症状なし。
吸入薬中止提案。

LDL低値、腎機能低下あり。スタチン系薬、中止提案。 Ccr36mL/min LDL 70以下で推移

かなり以前から振戦あり。
抗精神病薬内服中であり、副作用ではないか。

→提案により、すべて中止

次回受診でよいこと

➡ トレーシングレポート

すぐに問い合わせしてほしい提案内容の紹介



当院処方と他院処方では降圧薬・高尿酸血症治療薬が重複

**当院から受け取った処方せんについての重複・相互作用
と思われるもの/次回受診まで待てないもの**

➡ 疑義照会



排尿障害治療薬内服中の患者より、ふらつきの訴えあり
副作用ではないか？

**服用中に副作用と認識し、
内服の継続について確認が必要と判断**

➡ 当院まで電話連絡を

こんなトレーシングレポートも歓迎します



施設入所中の患者さんの現在の服薬情報や服薬歴について、
当院入院当日に、保険薬局より
トレーシングレポートにて情報を提供して頂きました。

入院患者さんの入院前の服薬情報を把握することは、
入院後の薬物治療を適切に行う上で、非常に重要となります。

ありがとうございました。

3. 検査値へのMg値,Ca値追加表示について

3. 検査値へのMg値,Ca値追加表示について

高齢者・腎機能低下患者では、酸化マグネシウム、エルデカルシトールの服用により、高マグネシウム血症、高カルシウム血症を引き起こすことが知られています。

酸化マグネシウム、エルデカルシトール

Mg

Ca

6/7より院外処方せん添付の検査値用紙にMg値、Ca値を表示させて頂いております。



ありがとうございました